

平成28年第4回（12月）定例会 総務常任委員会報告書

議案番号	議案の名称	審査結果	採決日
議案第140号	平成28年度宝塚市一般会計補正予算(第3号)	可決 (全員一致)	11月22日
議案第141号	平成28年度宝塚市特別会計国民健康保険事業費補正予算(第4号)	可決 (全員一致)	
議案第142号	平成28年度宝塚市特別会計介護保険事業費補正予算(第3号)	可決 (全員一致)	
議案第143号	平成28年度宝塚市特別会計後期高齢者医療事業費補正予算(第2号)	可決 (全員一致)	
議案第144号	平成28年度宝塚市特別会計宝塚すみれ墓苑事業費補正予算(第2号)	可決 (全員一致)	
議案第146号	宝塚市市税条例の一部を改正する条例の制定について	可決 (全員一致)	
議案第147号	執行機関の附属機関設置に関する条例及び宝塚市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について	可決 (全員一致)	
議案第148号	宝塚市職員定数条例の一部を改正する条例の制定について	可決 (全員一致)	12月16日
議案第149号	宝塚市債権管理条例の一部を改正する条例の制定について	可決 (全員一致)	11月22日
議案第157号	権利の放棄について	可決 (全員一致)	
議案第158号	権利の放棄について	可決 (全員一致)	
議案第166号	平成28年度宝塚市一般会計補正予算(第4号)	可決 (全員一致)	12月16日
議案第167号	平成28年度宝塚市特別会計国民健康保険事業費補正予算(第5号)	可決 (全員一致)	
議案第168号	平成28年度宝塚市特別会計国民健康保険診療施設費補正予算(第2号)	可決 (全員一致)	
議案第169号	平成28年度宝塚市特別会計農業共済事業費補正予算(第2号)	可決 (全員一致)	
議案第170号	平成28年度宝塚市特別会計介護保険事業費補正予算(第4号)	可決 (全員一致)	

議案第171号	平成28年度宝塚市特別会計後期高齢者医療事業費補正予算(第3号)	可決 (全員一致)	12月16日
議案第172号	平成28年度宝塚市特別会計宝塚すみれ墓苑事業費補正予算(第3号)	可決 (全員一致)	
議案第175号	宝塚市名誉市民条例の一部を改正する条例の制定について	可決 (全員一致)	

審査の状況

① 平成28年11月17日 (議案審査)

- ・出席委員 ◎大河内 茂太 ○浅谷 亜紀 梶川 みさお 北山 照昭
たけした 正彦 となき 正勝 中野 正 みとみ 稔之
山本 敬子

② 平成28年11月22日 (議案審査)

- ・出席委員 ◎大河内 茂太 ○浅谷 亜紀 梶川 みさお 北山 照昭
たけした 正彦 となき 正勝 中野 正 みとみ 稔之
山本 敬子

③ 平成28年12月16日 (議案審査、委員会報告書協議)

- ・出席委員 ◎大河内 茂太 ○浅谷 亜紀 梶川 みさお 北山 照昭
たけした 正彦 となき 正勝 中野 正 みとみ 稔之
山本 敬子

(◎は委員長、○は副委員長)

議案番号及び議案名

議案第140号 平成28年度宝塚市一般会計補正予算（第3号）

議案の概要

補正後の平成28年度宝塚市一般会計の歳入歳出予算の総額

809億988万9千円（22億4,248万5千円の増額）

歳出予算の主なもの

増額 新庁舎・ひろば整備事業

手塚治虫記念館管理運営事業

くらんど人権文化センター整備事業

学校園（小中学校、幼稚園）施設整備事業

減額 執行額の確定などに伴う執行残など

歳入予算の主なもの

増額 国庫支出金 社会資本整備総合交付金

地方創生拠点整備交付金

学校施設環境改善交付金

県支出金 隣保館施設整備費補助金

繰越金 前年度からの繰越金

市債 手塚治虫記念館管理運営事業債

人権文化センター施設整備事業債

新庁舎・ひろば整備事業債

学校園施設整備事業債

減額 繰入金 財政調整基金とりくずし

繰越明許費の補正

追加 手塚治虫記念館管理運営事業ほか7件

債務負担行為の補正

追加 固定資産税・都市計画税システム更新事業ほか13件

変更 都市計画道路荒地西山線整備事業

地方債の補正

追加 手塚治虫記念館管理運営事業債の限度額

増額 人権文化センター施設整備事業債の限度額

新庁舎・ひろば整備事業債の限度額

学校園施設整備事業債の限度額

減額 道路橋りょう整備事業債の限度額

論 点 なし

<質疑の概要>

問1 手塚治虫記念館リニューアル計画のコンセプトは、現在の展示のうちアニメ制作体験等を後退させ、より一層、手塚治虫氏の人物像や世界観、手塚作品の原点である宝塚という部分にシフトをしようとするものか。手塚氏は漫画やアニメを文化へ引き上げた世界的に著名な人物であり、その方が育った宝塚をアピールしてほしいが、記念館をまちづくりに生かす考えはあるか。

答1 平成14年のリニューアルの際に、G階フロアにアニメーションの発達史等のわかりやすい説明展示や体験コーナーを設けた。今後も引き続き展示し、体験コーナーでも魅力ある体験を充実したい。記念館で手塚治虫氏の世界を体験できることのほかにも、手塚氏が宝塚に住んでいたということを市民と共有していきたいと考えており、手塚ファンが館内だけでなく、いずれは館外にも来ていただけるよう、ガイド等の育成もしたい。宝塚市に住んでいた手塚治虫氏が、市民等に敬愛されるよう、いろいろ検討していきたい。

問2 学校施設の空調設備更新では、イニシャルコストもメンテナンスも高額になるのに、なぜ業務用の天井埋め込み式を採用するのか。今は家庭用で30畳ぐらいの空調機があり、節電の面でも優れている。1台40万円前後で取り付けできるので、1教室に2台設置すればよいのではないか。また、家庭用であれば、市内の電気店に発注することもできるのでは。

答2 家庭用の空調機も性能が上がり、安価でメンテナンス面でも優れているものもあるかもしれないが、各教室に設置すると、それぞれに室外機がありベランダが塞がってしまうということもあるので、学校施設の空調設備更新では業務用の天井カセット式かつり下げ式のものを選定の基準とし、屋上等に室外機を設置するための工事費も含めた更新費用としている。

問3 生活保護事業の医療扶助費が2億円を超える増額補正になっているが、平成27年度実績で金額、件数ともふえている理由は。また、今後もふえる見込みか。

答3 医療技術が進歩し、高度な手術等もふえ、レセプト（診療報酬明細書）1件あたりの金額で高額なものがふえているためである。また、高齢者世帯が生活保護全体の40%程度を占め、医療が必要な高齢者が増加していることも原因である。リーマンショック後の大幅な増加ほどではないが、生活保護はだんだんふえており、減ることはない状況にある。

問4 固定資産税・都市計画税システム更新の予算も計上されているが、地震等の災害時に備え、各システムのバックアップは安全性を確保できるようになっているか。クラウド化はしていないのか。

答4 システムのバックアップは情報政策課で一括してバックアップ用のコンピューターにデータの退避を行っており、機械の故障やデータの消失に備え、毎日磁気テープにコピーしている。万が一の市庁舎被災に備え、県と県下23市町の共同事業で、週に1回事業者がテープを回収し、約80キロメートル離れた滋賀県のデータセンターにコピーを退避させるなど、二重三重の対策をしている。なお、現在のところクラウド化は採用していない。

問5 小・中学校の施設修繕料が、空調設備等の緊急修繕対応により増額補正となっているが、毎年故障し修繕の見込まれるものは、それを見越した予算を当初から組み、補正対応しなくても済むようにすべき。空調以外の修繕でも、壊れてもなかなか直されないものも多く、日常的に修繕費の予算が足りていないのではないかと。

答5 今回小・中学校で各1千万円程度の想定外の修繕が必要となり、下半期の執行が焦げつくものを補正計上した。現在、国の補正予算を獲得し、空調設備の更新を進めており、今後突発的な修繕は減るものと考えている。財政が厳しく抜本的な更新事業は遅延しているが、機器の長寿命化のためのメンテナンスや修繕もあわせた計画を進め、そうした予算取りを今後も考えていく。

問6 社会保険の適用拡大のためにアルバイト職員社会保険料等が増額計上されていると思うが、どういう職場の職員でどのような内容となるのか。また、地域児童育成会補助員賃金と市立保育所アルバイト賃金、教職員のアルバイト賃金が増額されているのはなぜか。

答6 地域児童育成会補助員32名分の6か月分と学校給食の調理補助員8名分の11か月分が補正増額の対象で、育成会補助員は今年10月制度改正された社会保険の適用拡大のため、学校給食の調理補助員は配置人員見直しのためである。

また、地域児童育成会補助員の賃金増額は、育成会児童受入拡大により補助員が2名増加、また要支援児への加配により9名増加、そして保育所では特別支援児の増加によりアルバイト職員が4名増加したためである。教職員のアルバイト賃金増額は、学校給食調理員の配置基準を見直し、嘱託職員4名の退職に対し、8名のアルバイト職員を配置したためである。

問7 平成27年度の手塚治虫記念館の入館者数が平成26年度と比べ下がっているのはなぜか。海外からの客がふえているはずではなかったか。また、リニューアル計画の委託内容の中に、文化芸術施設・庭園側からの記念館G階入り口の再開とパソコン関係の老朽更新は入っていないのか。特にG階入り口の再開は重要であり、いつを目途に再開するのか。

答7 平成26年度はトリプル周年で、前年の平成25年度から関連イベントを含め、大きなイベントを集中して行った効果があったが、平成27年度は、記念事業が減っ

たため入館者数が減ったものと思われる。

G階入り口の再開とパソコンの老朽更新はリニューアル計画の中で検討しており、G階入り口は庭園側の工事にあわせて再開を検討している。

問8 校舎・体育館の雨漏りは漏水原因を特定するため等の調査中というのが多いが、鉄筋は水を含むと破裂することもあり、雨漏りは非常に深刻な問題である。すぐに手を打って対策するべきで、専門業者などに委託して調査したりしているのか。経過観察というところもあるが、いつまでに解決するつもりなのか。

答8 雨漏りは発生箇所と雨水が入ってくる箇所が同じとは限らず、通常の雨で常に雨漏りしているならばまだ特定しやすいが、風の向きや雨の降り方で雨漏りすることがある場合は特定が難しい。現在、専門業者による調査や、施設課の職員が経過観察をしており、原因が特定できた段階で、なるべく早く修繕していきたい。躯体の維持は長寿命化のためにも重要課題と受けとめており、予算の都合もあるのでいつとは言えないが、専門業者による調査を実施し修繕するよう、全力を尽くしたい。

問9 決算確定後、実質収支の2分の1は財政調整基金に積み立てるものとし、残りの2分の1の半分、4分の1は新ごみ処理施設建設基金に積み立てるというルールは今後も続くのか。実質、必要なお金は積み立てるべきで、ルールに縛られて積み立てられないのであればルールを変えないといけない。実質、必要な金額は明確にするべきでは。

答9 最低4分の1相当は新ごみ処理施設建設基金に積み立てるものとしており、それ以上を積み立てることも、予算を計上した上で可能。残りの4分の1は今回12月補正予算の一般財源分に充当しているが、今後補正のタイミングにおいて、基金の目的や剰余金全体を見て、計画的にしっかり積み立てをしていきたい。

問10 プール解放事業の介助員謝礼が50万円減額になっている。平成26年度は20校であった小学校プール開放事業の実施校数が、平成26年度にあった事故や夏休みの学校改修の影響もあるのか、平成28年度は15校となっており、PTAも実施に慎重になっているようである。この事業における責任の所在はどこにあるのか。また、市職員が複数人体制で実施状況の確認のため巡回しているとのことだが、教職員にも状況確認の協力をお願いできないか。

答10 小学校プール開放事業では、市が予算を持ち、監視員の業務委託やPTAに委託しているが、実施責任は市にある。子どもを送り出す保護者にもパンフレットを配付し事業に対する理解を求め、監視員や、補助業務を受けているPTAとともに、事業の安全実施のため、トータルでレベルアップを図っている。また、毎年、事業実施後、PTAから問題点についての意見をもらい、改善を図っている。社会教育部の事業であり、学校事業ではないので、学校長には事業実施前の会議に出席を求

める程度である。	
自由討議	なし
討 論	なし
審査結果	可決 (全員一致)

平成28年第4回（12月）定例会 総務常任委員会報告書

議案番号及び議案名	
議案第141号 平成28年度宝塚市特別会計国民健康保険事業費補正予算（第4号）	
議案の概要	
補正後の平成28年度宝塚市特別会計国民健康保険事業費の歳入歳出予算の総額 295億8,920万6千円（3億4,108万1千円の増額）	
歳出予算の主なもの	
増額	一般被保険者高額療養費事業 共同事業医療費拠出事業
歳入予算の主なもの	
増額	療養給付費等負担金 高額医療費共同事業交付金
論 点	なし
<質疑の概要>	
問1	共同事業医療費拠出事業の内容は。また、歳出に高額療養費共同事業医療費拠出金が計上されており、歳入に高額医療費共同事業交付金が計上されているがこの関係は。
答1	高額医療費に関して、市町村からの拠出金を元に都道府県単位で費用負担を調整する事業で、歳出で拠出金を出し、歳入で調整した額が入ってくることになる。
自由討議	なし
討 論	なし
審査結果	可決（全員一致）

議案番号及び議案名

議案第142号 平成28年度宝塚市特別会計介護保険事業費補正予算（第3号）

議案の概要

補正後の平成28年度宝塚市特別会計介護保険事業費の歳入歳出予算の総額

193億4,385万5千円（4億2,859万9千円の増額）

歳出予算の主なもの

増額 高額介護サービス等給付事業

基金管理事業

減額 介護予防サービス給付事業

歳入予算の主なもの

増額 前年度からの繰越金

論 点 なし

<質疑の概要>

問1 新規事業で総合事業訪問型サービス従事者養成研修委託料が計上されている。この事業を平成29年1月から実施するとのことだが、なぜ新規事業として1月から実施するのか。また、平成29年度は、1回あたり20人で4回分の予算を要求とあるが、今後は年間4回の実施となるのか。

答1 総合事業は、団塊の世代がすべて後期高齢者となる平成37年（2025年）を目途として実施する事業であり、本市の場合、平成29年4月にスタートを切ることから、多様なサービスの一つである訪問型サービスの準備として、今回、従事者養成研修を実施しようとするもの。研修内容は、講義12時間と現場実習4時間を基本としている。現場実習については、実際にホームヘルパーに同行して実習することになるため、受け入れていただける高齢者の数に限りがあり、1日に1人か2人が限界である。そのため1回の研修定員を20人としている。また、平成29年度は、年4回の実施を予定しており、年間80人に研修を行う。平成37年に向け少しずつ多様なサービス提供者をふやしていきたい。サービス提供者をふやすことは高齢社会において必須であると考えている。

問2 訪問介護については、食事の準備や買い物などを行うことになるが、料理などについて、男性の介護従事者も期待できるのか。

答2 今回の研修は、身体介護を伴わない生活援助で、調理、掃除、買い物などを担うもの。入浴介助などの身体介護については、同性の介護者が行うのが大原則であるが、生活援助についてはそこまで考えるものではないと思われる。実態としてこの職種は女性が多く、女性の応募が多いと考えている。

問3 高額介護サービス費の増を介護予防サービス給付費の減額で賄っており、介護予防サービスにおいて、執行残が出る見込みのためとのことであったが、介護予防給付事業の内訳で特に減額が大きい項目がある。例えば介護予防特定施設入居者生活介護は、1億6千万円弱の予算のうち5,170万円程と3分の1の減額である。どのような想定で減額しているのか。

答3 介護予防特定施設入居者生活介護については、平成27年度に介護報酬の改定があり、計画を策定する時点では、介護報酬の内訳が出ていなかったため、全体の介護報酬改定率だけで計画をつくり、平成28年度の予算も計画に基づき計上した。しかし、実際には、介護予防特定施設入居者生活介護の報酬は大幅に減額改定されたため、多額の執行残が発生する見込みとなっている。その他の大幅な減額についても介護報酬の減額によるものである。

自由討議	なし
討論	なし
審査結果	可決（全員一致）

平成28年第4回（12月）定例会 総務常任委員会報告書

議案番号及び議案名	
議案第143号 平成28年度宝塚市特別会計後期高齢者医療事業費補正予算（第2号）	
議案の概要	
補正後の平成28年度宝塚市特別会計後期高齢者医療事業費の歳入歳出予算の総額 38億6,572万5千円（1億1,932万5千円の増額）	
歳出予算	
増額 後期高齢者医療広域連合納付金	
歳入予算	
増額 前年度からの繰越金	
論 点	なし
<質疑の概要>	なし
自由討議	なし
討 論	なし
審査結果	可決（全員一致）

平成28年第4回（12月）定例会 総務常任委員会報告書

議案番号及び議案名	
議案第144号 平成28年度宝塚市特別会計宝塚すみれ墓苑事業費補正予算(第2号)	
議案の概要	
補正後の平成28年度宝塚市特別会計宝塚すみれ墓苑事業費の歳入歳出予算の総額 3億7,380万7千円(820万5千円の減額)	
歳出予算	
減額 予備費	
歳入予算	
減額 前年度からの繰越金	
論 点	なし
<質疑の概要>	なし
自由討議	なし
討 論	なし
審査結果	可決(全員一致)

平成28年第4回（12月）定例会 総務常任委員会報告書

議案番号及び議案名	
議案第146号 宝塚市市税条例の一部を改正する条例の制定について	
議案の概要	
<p>本年3月31日に所得税法等の一部を改正する法律などが公布され、来年1月1日から順次施行されることに伴い、条例の一部を改正しようとするもの。</p> <p>(改正の主な内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> 軽自動車税について、昨年度中に取得した環境性能に優れた一定の軽自動車に対する税率を軽減するグリーン化特例を1年間延長し、本年度中に取得したものについて、来年度も同様に軽減するもの 個人の市民税について、台湾との間で、国において租税条約に相当する枠組みを構築したことに伴い、台湾の企業から支払いを受ける一定の利子又は配当について、他の所得と分離し、課税するもの 	
論 点 なし	
<質疑の概要>	
問1	市税収入に対する予測影響額はどれくらいか。
答1	軽自動車税を軽減するグリーン化特例による影響については、税軽減対象台数が平成28年度は1,130台、419万4,600円の減収で、課税額ベースでは約6%にあたる。平成29年度は、現時点では税軽減対象台数が未確定のため、影響額はわからないが、平成28年度と同程度の減収になると思われる。また、日台民間租税協定によるものについて、平成28年度課税分は、利子所得の申告はないため影響はなく、一方配当所得は課税資料に国名記載がないため影響は不明。台湾のみが対象であるため、平成29年度分も影響は少ないと見込んでいる。
問2	農業用トラクターも軽自動車だが、課税対象として影響があるのか。また、工事用車両についてはどうか。
答2	今回対象となるのは乗用車（自家用軽四輪）や事業用貨物車（営業用軽四輪）であるので、どちらも対象外である。
自由討議 なし	
討 論 なし	
審査結果 可決（全員一致）	

平成28年第4回（12月）定例会 総務常任委員会報告書

議案番号及び議案名	
議案第147号 執行機関の附属機関設置に関する条例及び宝塚市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について	
議案の概要	
個人情報の保護に関する法律及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部を改正する法律により、いわゆる番号法の一部が改正されることに伴い、条例の規定について所要の整理を行うもの。	
論 点	なし
<質疑の概要>	なし
自由討議	なし
討 論	なし
審査結果	可決（全員一致）

平成28年第4回（12月）定例会 総務常任委員会報告書

議案番号及び議案名	
議案第148号 宝塚市職員定数条例の一部を改正する条例の制定について	
議案の概要	
<p>定員管理方針により、条例に基づく適正な定員管理を行うため、条例の一部を改正しようとするもの。</p> <p>(改正の主な内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 再任用短時間勤務の職員数を定数に含めるとともに、職員の定数を見直すもの ・ 休職や育児休業をしている職員などを定数の算定から除外しようとするもの 	
論 点	見直し定数の妥当性
<質疑の概要>	なし
自由討議	なし
討 論	なし
審査結果	可決（全員一致）

平成28年第4回（12月）定例会 総務常任委員会報告書

議案番号及び議案名	
議案第149号 宝塚市債権管理条例の一部を改正する条例の制定について	
議案の概要	
<p>条例施行から2年が経過し、運用状況も踏まえて規定の見直しを行うため、条例の一部を改正しようとするもの。</p> <p>(改正の主な内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 時効が完成した場合及び債権の存否に争いがある場合に、市長限りで債権放棄することができる金額を、1件当たり100万円以下とするもの 	
論 点	なし
<質疑の概要>	なし
自由討議	なし
討 論	なし
審査結果	可決（全員一致）

平成28年第4回(12月)定例会 総務常任委員会報告書

議案番号及び議案名

議案第157号 権利の放棄について

議案第158号 権利の放棄について

議案の概要

平成19年1月20日に発生したカラオケボックス店建物火災について提起された損害賠償請求事件2件については、それぞれ、相手方の市に対する請求が棄却されるとともに、市に生じた訴訟費用については、相手方の負担とする旨の判決が確定しているが、地方自治法第96条第1項第10号の規定に基づき、権利を放棄しようとするもの。

論 点 なし

<質疑の概要>

問1 訴訟費用の支払い請求権を今回放棄するということだが、こうした事例は市として一般的なのか。それとも今回は特例か。特例ならば、その根拠は。

答1 本市では訴訟費用については基本的に請求するという方針だが、今回発生したカラオケボックス店建物火災の事案を個別に検討する中では、原告の感情を考慮する必要があると判断したため、例外的なものとする。

自由討議 なし

討 論 なし

審査結果

議案第157号 可決(全員一致)

議案第158号 可決(全員一致)

議案番号及び議案名

議案第166号 平成28年度宝塚市一般会計補正予算（第4号）

議案の概要

補正後の平成28年度宝塚市一般会計の歳入歳出予算の総額

816億4,593万8千円（7億3,604万9千円の増額）

歳出予算

増額 人件費

臨時福祉給付金等給付事業

市議会運営事業

歳入予算

増額 国庫支出金 臨時福祉給付金給付事務費補助金

臨時福祉給付金給付事業費補助金

繰入金 財政調整基金とりくずし

繰越明許費の補正

追加 臨時福祉給付金等給付事業

論 点 なし

<質疑の概要>

問1 国の補正予算成立で、引き続き臨時福祉給付金給付事業（経済対策分）を実施するための補正予算の増額だが、平成28年1月1日現在宝塚市に住民票があり、平成28年度市町村民税（均等割）非課税者の支給対象見込者3万6千人というのは、前回の対象者と同じか。それともまた調査する必要があるのか。

答1 支給要件は平成28年度臨時福祉給付金給付事業の対象者と同じであるが、税額更正や死亡などといった変動があるので、同様に調査した上で支給する。

問2 この平成29年度に支給される臨時福祉給付金は、平成28年1月1日現在宝塚市に住民票があったが、平成29年1月1日には住民票がない人は対象にならないか。

答2 基準日は平成28年1月1日現在で、その時点で宝塚市に住民票があるということが要件であり、それ以降他市へ転出した人でも市民税非課税等その他の要件を満たせば支給対象となる。

問3 平成28年度の人事院勧告による人件費の補正なので、増額になるものと思われるが、生活保護総務費や幼稚園費の人件費が約2,200万円や約3,300万円など大きい減額となっているところもあるのは、なぜか。

答3 予算編成後の機構改革により組織や人員の増減の入り繰りがあったものの更正であるためである。

問4 財政調整基金のとりくずしの目的は。また、その結果どうなったのか。

答4 今回のとりくずしの目的は、人件費の増額に充てるためである。財政調整基金の残高は平成27年度末に約51億7,900万円で、当初8億円とりくずす予定であったが、6月補正、9月補正、12月補正でそれぞれとりくずしを減額し、12月補正で実質収支の2分の1と利子をあわせて約2億9,900万円積み立て、今回約1億2,919万円をとりくずすため、現在の残高は約52億7,100万円である。

問5 国の収入も当初見込みより厳しく、地方へも直接影響する。他市ではトップ交渉で積極的に財源確保を行っていると聞かすが、国とのパイプをつくる努力をし、国会議員や県会議員にも協力を呼びかけるなどすべき。宝塚市だけ取り残されないよう、特に年末から年始にかけてのこの時期は、交付税獲得のために大事な時期では。

答5 11月には市長も直接国へ要望に出かけ、また教育関係の施設については、国が補正予算を組んだ時に向け、交付税を受けるための事前準備を行い、12月補正でも交付をいただいた。3月補正でも積極的に働きかけ、有利な条件のものをいただいて、市の財政立て直しのための努力をしていく。

自由討議	なし
討論	なし
審査結果	可決（全員一致）

平成28年第4回（12月）定例会 総務常任委員会報告書

議案番号及び議案名	
議案第167号 平成28年度宝塚市特別会計国民健康保険事業費補正予算（第5号）	
議案の概要	
補正後の平成28年度宝塚市特別会計国民健康保険事業費の歳入歳出予算の総額 295億8,385万円（535万6千円の減額）	
歳出予算	
減額 人件費	
歳入予算	
減額 職員給与費等繰入金	
論 点	なし
<質疑の概要>	
問1	人件費が減額になっている理由は。
答1	職員構成の変動によるもの。国民健康保険課では昨年度まで副課長級の職員を配置していたが、現在は係長級の職員が配置されており、役職の変更や年齢構成の変更による給与費の増減によるものである。
自由討議	なし
討 論	なし
審査結果	可決（全員一致）

平成28年第4回（12月）定例会 総務常任委員会報告書

議案番号及び議案名	
議案第168号 平成28年度宝塚市特別会計国民健康保険診療施設費補正予算（第2号）	
議案の概要	
補正後の平成28年度宝塚市特別会計国民健康保険診療施設費の歳入歳出予算の総額 1億2,328万9千円（275万8千円の増額）	
歳出予算	
増額 人件費	
歳入予算	
増額 一般会計からの繰入金	
論 点	なし
<質疑の概要>	なし
自由討議	なし
討 論	なし
審査結果	可決（全員一致）

平成28年第4回（12月）定例会 総務常任委員会報告書

議案番号及び議案名	
議案第169号 平成28年度宝塚市特別会計農業共済事業費補正予算（第2号）	
議案の概要	
補正後の平成28年度宝塚市特別会計農業共済事業費の歳入歳出予算の総額 1億1,184万円（115万9千円の減額）	
歳出予算	
減額 人件費	
歳入予算	
減額 一般会計からの繰入金	
論 点	なし
<質疑の概要>	
問1 業務の減による人件費減額とのことだが、どういったものか。	
答1 平成30年度からの農業共済制度の改正に向け、業務増を見込み、給与増を予定していたが、今のところ実際それに伴う業務は発生していないための減額である。	
自由討議	なし
討 論	なし
審査結果	可決（全員一致）

平成28年第4回（12月）定例会 総務常任委員会報告書

議案番号及び議案名	
議案第170号 平成28年度宝塚市特別会計介護保険事業費補正予算（第4号）	
議案の概要	
補正後の平成28年度宝塚市特別会計介護保険事業費の歳入歳出予算の総額 193億5,097万3千円（711万8千円の増額）	
歳出予算	
増額 人件費	
歳入予算	
増額 職員給与費等繰入金	
論 点	なし
<質疑の概要>	なし
自由討議	なし
討 論	なし
審査結果	可決（全員一致）

平成28年第4回（12月）定例会 総務常任委員会報告書

議案番号及び議案名	
議案第171号 平成28年度宝塚市特別会計後期高齢者医療事業費補正予算（第3号）	
議案の概要	
補正後の平成28年度宝塚市特別会計後期高齢者医療事業費の歳入歳出予算の総額 38億6,059万9千円（512万6千円の減額）	
歳出予算	
減額 人件費	
歳入予算	
減額 職員給与費等繰入金	
論 点	なし
<質疑の概要>	
問1	人件費の減額理由は。
答1	職員の人数の増減はないが、人事異動に伴い、年齢の高い職員に代わって若手の職員が配置されたためである。
自由討議	なし
討 論	なし
審査結果	可決（全員一致）

平成28年第4回（12月）定例会 総務常任委員会報告書

議案番号及び議案名	
議案第172号 平成28年度宝塚市特別会計宝塚すみれ墓苑事業費補正予算(第3号)	
議案の概要	
補正後の平成28年度宝塚市特別会計宝塚すみれ墓苑事業費の歳入歳出予算の総額 3億7,380万7千円(増減なし)	
歳出予算	
減額	人件費
増額	予備費
論 点	なし
<質疑の概要>	
問1	一般職員の給与は3千円増額で職員手当等が47万8千円減額になっているのは、 どういうことか。
答1	給与改定に伴い、給与は増であるが、職員手当については時間外勤務実績などを もとにして減額となった。
自由討議	なし
討 論	なし
審査結果	可決(全員一致)

<p>議案番号及び議案名 議案第175号 宝塚市名誉市民条例の一部を改正する条例の制定について</p>
<p>議案の概要 歴史上の人物を市として顕彰する規定を整備するため、条例の一部を改正しようとするもの。</p>
<p>論 点 なし</p> <p><質疑の概要></p> <p>問1 条例第1条の「技芸」とは何をいうのか。 答1 「技術」、「芸」ということ。接ぎ木の技術がこれに当てはまると考えている。</p> <p>問2 「技芸」を対象とすることにより、対象となる範囲が広がりすぎる。あまり対象を広げることは好ましくなく、明確な解釈が必要である。この条例の運用基準などはあるのか。 答2 運用基準は今後策定していくことになるが、その基本的な考え方としては、①宝塚市にゆかりのある人物、②芸術、文化、文学、自然科学、社会科学、スポーツ、社会、経済、福祉、医療、教育、地方自治等の各分野で、大きな功績を残した人物、③今後の顕彰活動を行っていく上で、功績や足跡を具体的に明らかにできる史料が残っている人物、④物故者である人物の4つの条件を満たしている人物を特別名誉市民とすることとしたい。</p> <p>問3 「市民の尊敬を受け続けてきた偉人」とあるが「受け続けてきた」の解釈は。 答3 歴史上の人物と考えており、どのくらい昔の人物とするかは、次に特別名誉市民の決定をするときには、運用ルールの中で明確にしていきたい。</p> <p>問4 国際友好名誉市民（現特別名誉市民）に、取り消しする規定がないのはなぜか。 答4 国際友好名誉市民（現特別名誉市民）に対する顕彰は、贈る行為のみであり、外国人という特殊性を考えて取り消しの規定はしていない。他市の同様な条例においても取消規定はない。仮に、取り消しが必要な事態が発生すれば、そのときに条例について考える。</p> <p>問5 議案第123号の議論の中で、「接ぎ木の技術に関して日本遺産認定の取り組みをしていただきたい」との質疑に対し、「研究していく必要がある」との答弁があったが、その後取り組みはしているのか。 答5 すぐに国に行って研究を始めるよう担当課にも指示し、担当課では日本遺産について調査を行っている。本市にある国指定の文化財のうち最低1つは、日本遺産認定の</p>

ストーリーに含める必要があり、発信する地元の体制や歴史文化基本構想等を定めて取り組む必要がある。現状では1市のみで認定を受けている市は少なく、複数市での認定を受けている事例が多い。今後、引き続き産業文化部と社会教育部が連携して研究し、歴史専門家の協力も受けストーリーをつくっていききたい。

問6 第1条の「もって本市に対する市民の愛着と誇りの高揚に資することを目的とする」は、国際友好名誉市民についても該当するのか。そうであれば違和感があると思うが。

答6 国際友好名誉市民についても該当するものと考えており、来賓として来訪した人について、来訪した事実が、市民の愛着と誇りの高揚につながるよう、ホームページ等で紹介していく。

問7 今回新たに追加する歴史上の偉人について「特別名誉市民」とし、これまで「特別名誉市民」であった、外国からの来賓を「国際友好名誉市民」に変更したのはなぜか。

答7 今回の改正に当たり、よりわかりやすい名称としたいと考え、このような改正を行うもの。

自由討議 なし

討 論

(賛成討論)

討論1 議案第123号を継続審査とし、時間をかけて審査したことは、地元にも精神的苦痛を与えたことと思う。坂上頼泰の功績をたたえて賛成としたい。

しかしながら、若干の疑問もある。接ぎ木技術の象徴でもある、市役所中庭の里帰り牡丹が枯れてしまっている。こんな状態で接ぎ木の技術や木接太夫について顕彰するというのはどうなのか。

また、今回、国際友好名誉市民となるボブ・ヤング氏に連絡はするのか。この事実を認識してくれるか。対応がその都度その都度となっており問題を感じる。

行政の取り組みが不十分であったため、議会からも問題があると言われるのではないか。今後は、十分に協議し、確実な議案を提案していただきたい。

審査結果 可決 (全員一致)

